

育てよう！

子どもたちの「心の元気」

広島県教育委員会事務局

教育部指導第三課長 中村 弘市

「感じていますか 子どもたちの『心の元気！』 すべての子どもたちが生き生きと夢や希望を語ることに社会の一員としての自覚を持ち、たくましく成長していくこと、それが私たち大人の願いです・・・」

これは平成十四年に県教委が発信した「豊かな心を育むひろしま宣言」の冒頭部分である。

本県の現状をみると、暴力行為の発生件数の増加や、不登校児童生徒数の割合が全国平均を上回っていることなど生徒指導上の諸問題が喫緊の課題として挙げられる。これら生徒指導上の問題を抱える児童生徒には、自己肯定感が低いことや、学校・地域に自分の居場所がないという要因が考えられる。

こうした諸課題の解決をめざし、本県では、今年度新たに、「心の元気を育てる地域支援事業」を実施している。本事業は、小・中学校、家庭、地域が一体となった体験活動を行い、児童生徒の自尊感情や社会参画への意欲や態

度等、豊かな心を育てることにより、生徒指導上の諸問題の未然防止を図ることを目的としたものである。

本事業の大きな特徴は、中学校区を一つの単位として、教職員、児童生徒、PTA関係者、公民館関係者等で構成される「地域推進協議会」を設置し、共通の目標である「地域まるごと宣言」を設定・発信していることと、「地域まるごと宣言」の実現に向けて、学校・家庭・地域が一体となった体験活動を実施していることである。

体験活動の中で、児童生徒に役割と責任を担わせ、三者が一体となった体験活動を行う中で、充実感や満足感を得られたり、がんばりに対して声をかけてもらえたりすることで、児童生徒の自己肯定感の高まりや、居場所作りにつながるようにしている。

今後は、本事業のように、学校・家庭・地域が協働し、一貫した方針を保ちながら、子どもたちの健やかな成長を育んでいくことが一層求められる。これからも、本事業の推進及び成果の普及還元を通して、皆様方とともに本県の子どもたちの「心の元気」を育てていきたいと考えている。